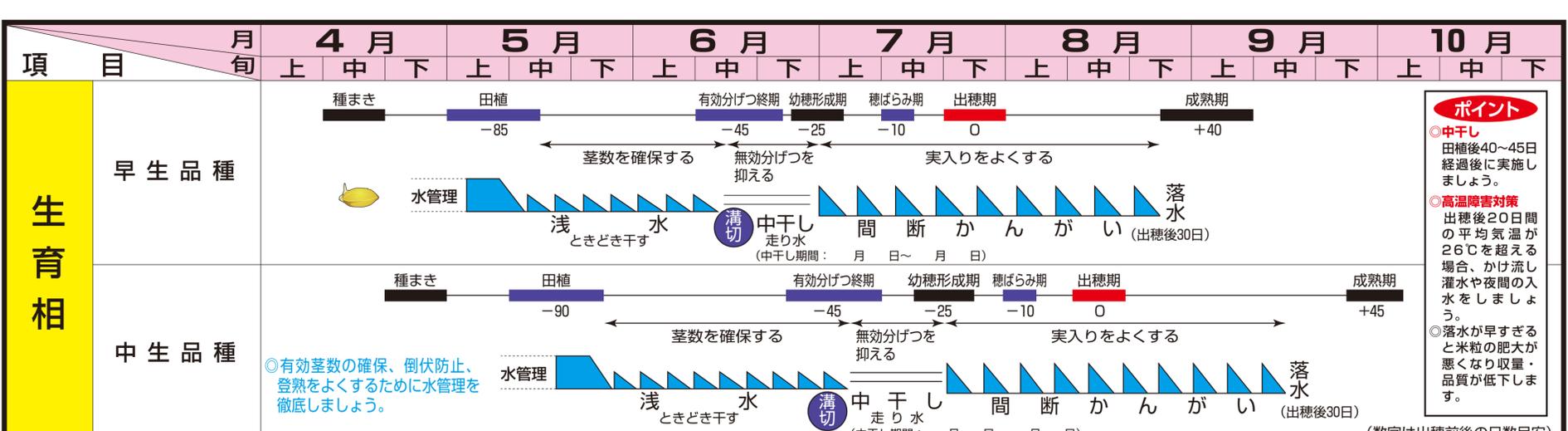


JA米の条件

1. 種子更新された米

2. 栽培履歴が記載され、確認された米

3. JAに出荷し、検査を受けた米



施肥設計

品質向上対策	品種名	作型	肥料名	施用方法	基肥	追肥	肥料名	穂肥	
活着促進対策「苦土重焼燐」 20kg/10a	ヒメノモチ	一般型	い〜ね403[改]	全層	30kg	10kg	新しいねがっちり一発の場合 けい酸加里プレミアム34 30kg/40kg/10a	10~15kg (出穂20日前頃)	
		基肥一発型	早生い〜ね755	全層	35~40kg				
	コシヒカリ	一般型	い〜ね403[改]	全層	15kg	10kg			10~15kg (出穂18日前頃)
		基肥一発型	早生い〜ね755	全層	26~35kg				
	あきさかり	一般型	い〜ね403[改]	全層	35kg	10kg			10~15kg (出穂20日前頃)
		基肥一発型	JBあきさかり502	全層	40kg				
あきろまん	一般型	い〜ね403[改]	全層	35kg	5kg	10~15kg (出穂25日前頃)			
	基肥一発型	中生い〜ね755	全層	40~45kg					

◎土づくり肥料(散布時期 稲刈後〜春) 資材名 特徴 10aあたり施用量
カキテツ 15kg/袋(月日) 広島県産の牡蠣殻と転炉スラグを一粒化した省力土改材です。牡蠣殻効果でガス沸き軽減。 毎年最低8袋以上必ず施用しましょう。
ミネラルG 20kg/袋(月日) 水稲に必要な成分(微量要素含む)をバランスよく配合しています。 毎年最低10袋以上必ず施用しましょう。

◎わらの腐熟促進対策 資材名 特徴 10aあたり施用量
アグリ革命 細粒(月日) 稲刈後できるだけ早い時期。 2kg/10a散布し、すき込みましょう。

◎秋耕 水田からのメタンガス発生を軽減するため、稲わらの秋鋤込みを行いましょう。(秋耕日: 月 日)

倒伏軽減剤

ロミカ粒剤	ビピフル粉剤DL	ビピフルフロアブル
2~3kg/10a	3~4kg/10a	薬量 75~100ml 散布量 50~150g/10a

※ロミカ粒剤は黒ボク・重粘土質土壌では効果が劣るので使用しない。

※いずれかを1回のみ使用

＜コシヒカリにおける草丈の推移と倒伏の関係＞

出穂前日数	-30日	-20日	-15日	稈長(cm)	倒伏
草丈(cm)	50cm以下	63cm以下	70cm以下	~82cm	ほぼ安全
	54~60cm	68~73cm	75~80cm	80~88cm	危険性あり
	60cm以上	73cm以上	80cm以上	83~91cm	危険性大

病害虫防除体系

基本防除

- 種子消毒: テクリドCフロアブル (200倍液)
- 育苗枯防除剤: ナエファインフロアブル
- 育苗箱施用剤: スクラム箱粒剤, サンエース箱粒剤
- 本田防除剤(基本防除2回): カサノコ, スタークル粒剤, イモチエース, アミスタートロンSE, ビームエイト, ビームパシオン, リサドネール

補助防除

- いもち病対策: オリゼメート粒剤
- 紋枯病対策: フランソフロアブル
- 稲こらじ病対策: モンガリット粒剤

農薬の使用上の注意

- 使用前には必ずラベルにある「使用量」「使用濃度」「使用回数」「使用時期」を確認しましょう。
- 稲施用剤の使用時には再度農薬名を確認しましょう。(除草剤と間違えないこと)
- 他の作物へ農薬が飛散しないよう散布には注意しましょう。
- 本田粒剤を使用する場合は、水の出入を止め散布(水深3~4cm)し、散布後7日間は落水しないで下さい。
- 散布が終わったら必ず、生産履歴をつけましょう。

体系処理

初期除草剤	中期除草剤	一発処理
サキドリEW 500ml/10a (月 日) ◆田植直後からノビエ1葉期まで または、植代後から田植前7日まで	ジェイフレンド 1キロ粒剤 1kg/10a 田植直後〜ノビエ3葉期まで フロアブル 500ml/10a 田植後5日〜ノビエ3葉期まで ジャンボ 400g/10a 田植後5日〜ノビエ3葉期まで	ジェイフレンド (月 日) ノビエおよび多年生雑草多発発生圃場対策 カイルキZ (月 日) ノビエ多発発生圃場対策 ゼータタイガー (月 日)
ダッシュワンフロアブル 500ml/10a (月 日) ◆田植直後からノビエ1葉期まで または、植代後から田植前7日まで	ノビエおよび多年生雑草多発発生圃場対策 カイルキZ (月 日) ノビエ多発発生圃場対策 ゼータタイガー (月 日)	ジェイフレンド (月 日) ノビエおよび多年生雑草多発発生圃場対策 カイルキZ (月 日) ノビエ多発発生圃場対策 ゼータタイガー (月 日)
草笛ジャンボ 500g(50g×10個)/10a (月 日) ◆田植直後からノビエ1葉期まで または、植代後から田植前7日まで	ノビエおよび多年生雑草多発発生圃場対策 カイルキZ (月 日) ノビエ多発発生圃場対策 ゼータタイガー (月 日)	ジェイフレンド (月 日) ノビエおよび多年生雑草多発発生圃場対策 カイルキZ (月 日) ノビエ多発発生圃場対策 ゼータタイガー (月 日)
先陣1キロ粒剤・ジャンボ 1kg・200g/10a (月 日) ◆1キロ 田植直後からノビエ1葉期まで 植代後から移穂7日前まで ◆ジャンボ 田植直後からノビエ1葉期まで 植代後から移穂7日前まで	ノビエおよび多年生雑草多発発生圃場対策 カイルキZ (月 日) ノビエ多発発生圃場対策 ゼータタイガー (月 日)	ジェイフレンド (月 日) ノビエおよび多年生雑草多発発生圃場対策 カイルキZ (月 日) ノビエ多発発生圃場対策 ゼータタイガー (月 日)

◎除草剤散布に関する注意事項
1. 除草剤効果が高まるため、田面の凹凸がなくなるよう植代(代かき)作業は丁寧にしてください。
2. 軟弱徒長苗および極端な浅植水田では、葉害を生じる恐れがあるので注意してください。
3. 漏水田(水もちが強い田)では、効果が劣るので漏水対策(畔めぐりなど)をしてください。
4. 除草剤は、処理時期を逃さないよう早目に処理してください。
5. 補植作業を行う場合は、除草剤散布前日までにしてください。
6. 除草剤散布時には、水の出入りを止め散布後少なくとも3~4日間は3~5cm程度の湛水状態を保ってください。
7. 環境(河川など)への流出を防ぐため、除草剤散布後、7日間は落水をしないでください。

◎一発除草剤の使用について
雑草の発生が少ない圃場では、一発処理を行うほうが低コストになります。植代(代かき)から田植までの日数が短い場合は、田植後早目に処理してください。移穂(田植)同時処理を行った場合は、補植作業はしないでください。移穂(田植)同時処理を行う場合は、移穂(田植)後、速やかに水を入れてください。

代かきから雑草発生時期 5月上旬 発生日5日 ノビエ1葉期 10日 (広島県雑草基準より) 5月中旬 発生日4日 ノビエ1葉期 9日

後期除草剤

ノビエ	広葉雑草	ノビエ+広葉雑草
ヒエグリーン豆つぼ250 250g/10a (月 日) 使用量: 250g/10a 使用時期: 田植後15日〜ノビエ4葉期(但し、収穫45日前まで) ※畔から豆まきするように散布してください。	バイスコブ1キロ粒剤 1kg/10a (月 日) 使用量: 1kg/10a 使用時期: 田植後14日〜60日まで(但し、収穫45日前まで) ※コナギ心形葉3葉期まで ホタルイ・クログワイ草丈15cmまで イボクサ・クサネ草丈20cmまで	レプスギア1キロ粒剤 1kg/10a (月 日) 使用量: 1kg/10a 使用時期: 田植後14日〜収穫60日前まで ※ノビエ4葉期まで ホタルイ草丈20cmまで クログワイ・コウキヤガラ草丈50cmまで レプスギアジャンボ 300g/10a (月 日) 使用量: 300g/10a 使用時期: 田植後14日〜収穫60日前まで ※ノビエ4葉期まで ホタルイ草丈20cmまで クログワイ・コウキヤガラ草丈50cmまで
トドMFM1キロ粒剤 1kg/10a (月 日) 使用量: 1kg/10a 使用時期: 田植後14日〜ノビエ5葉期(但し、50日前まで)		
クリンチャージャンボ 20~30パック/10a (月 日) 使用量: 20~30パック/10a 使用時期: 20パック 田植後7日〜ノビエ4葉期(但し、収穫30日前まで) 30パック 田植後25日〜ノビエ5葉期(但し、収穫30日前まで)		
		ワイドアタックSC 100ml/10a (月 日) 使用量: 100ml/10a 使用方法: 水100ℓに希釈し、雑草にしっかり散布してください。 使用時期: 田植後20日〜収穫30日前まで ※ノビエ6葉期まで クログワイ草丈30cmまで クサネ草丈20cmまで
		ロイヤント乳剤 200ml/10a (月 日) 使用量: 200ml/10a 使用方法: 水25~100ℓに希釈し、雑草にしっかり散布してください。 使用時期: 田植後20日〜収穫45日前まで ※ノビエ5葉期まで クサネ草丈70cmまで イボクサ草丈60cmまで

◎後期除草剤の使用について
「湛水して散布する」薬剤を使用する時は、できるだけ湛水にして、均一に散布してください。散布後は3~4日は湛水状態を保ち、7日間は落水しないでください。「落水して散布する」薬剤を使用する時は、足跡に水がたまる程度に落水し、均一に散布してください。散布後は3~4日は落水しないでください。(天候に注意)

◎収量・品質維持・地方向上のため土づくり肥料を必ず施用しましょう!

※農薬の内容は令和7年10月末現在の登録情報を参考に作成しています。この暦は、JAひろしまのホームページ(https://www.jahiroshima.or.jp/)の広島北部エリアニュースからもご確認いただけます。